

《Lesson 1》文頭に置ける副詞（句）

《ポイント！》

- (1) sometimes / on Sunday など、文の中間や最後に使っていた副詞（句）は文の先頭で使うことができる。
- (2) 文の先頭に持って来ることで、**文全体を修飾することができる**。
- (3) 1文に動詞が2つ以上登場する場合、副詞（句）がどちらの動詞にかかっているのかははっきりさせるために使われる。

＜例1＞ I sometimes go to the library and study French.

(私は時々図書館に行ってフランス語を勉強します)

【解説】 sometimes がかかるのが go to the library となる。つまり「私は家やカフェでフランス語を勉強することもあります、時々図書館に行ってフランス語を勉強します」という意味になる。

＜例2＞ Sometimes, I go to the library and study French.

(時々、私は図書館に行ってフランス語を勉強します)

【解説】 文頭に sometimes があるため、文全体を sometimes という単語で修飾する形となり「私は日頃いろいろなことをしていますが、時々図書館に行ってフランス語を勉強します」という意味になる。

- (4) on Monday のように、副詞句でも同じ考え方ができる。

＜例1＞ I did my homework and gave it to Ms. Yamada on Monday.

(私は宿題をして山田先生に月曜日に渡しました)

【解説】 「宿題を山田先生に渡したのが月曜日」というのは、はっきりしているが「私が宿題をした日」は月曜日でない可能性がある。

＜例2＞ On Monday, I did my homework and gave it to Ms. Yamada

(月曜日に私は宿題をして山田先生に渡しました)

【解説】 文全体を「月曜日に」という副詞句で説明しているため、「宿題をした日」と「それを山田先生に渡した日」が同じ「月曜日」だということがわかる。

(5) しかし、**副詞（句）の全てを文頭に置けるわけではないので注意**。副詞（句）は、種類によって文頭に置ける場合と置けない場合がある。

【文頭に置ける副詞（句）の種類と例】

種類	例
明確な時間を表す副詞	today（今日） / on Sunday（日曜日に） / five years ago（5年前）など
頻度を表す多くの副詞	sometimes（時々） / usually（たいてい）など
追加を表す副詞	also（～もまた） / additionally（さらに）など
話し手の意見・判断・心情を表す副詞	fortunately（幸運にも） / luckily（幸運にも） / honestly（正直に言って） / interestingly（興味深いことに）など
順番を表す副詞	first of all（第一に） / second（二番目に） / then（その後） / finally（最後に）など
例示	for example（例えば）など
理由・結果	for this/that reason（この/その理由で） / as a result（結果として）など
その他	actually（実際） then（それなら）など
*「頻度を表す副詞」でも <u>always / often</u> は文頭では使えないので注意！また、否定の頻度を表す <u>never</u> を文頭に置くと特殊な形になるので、ここでは扱いません。	

<例> Five years ago, I was working as an English teacher.

（5年前、私は英語の先生として働いていました）

First of all, you need to answer these questions.

（最初に、あなたはこれらの質問に答える必要があります）

ポイント！ 文頭に副詞（句）を置く場合、カンマを打つのが無難

副詞（句）を文頭に置く場合、直後にカンマを打つ／打たないを選べる場合がよくあります。例えば以下の2文。

- Fortunately she passed the entrance exam.
- Fortunately, she passed the entrance exam.

この2つは両方とも正解となります。しかし、個人的には「どんな場合でもカンマを打つ」ことをオススメしています。その理由は「カンマを打った方が読みやすいから」です。そのため、ここでの練習ではカンマを入れて練習していきます。

【文頭に置く副詞（句）の文：作り方】

ステップ①：「副詞（句）」と「残りの文」に分ける。

ステップ②：「副詞（句）＋カンマ＋残りの文」の形にする。

<例1> 「5年前、私は英語の先生として働いていました」という文の場合。

ステップ①：「副詞（句）」と「残りの文」に分ける。

副詞句：「5年前」＝five years ago

残りの文：「私は英語の先生として働いていました」
＝ I was working as an English teacher.

ステップ②：「副詞（句）＋カンマ＋残りの文」の形にする。

Five years ago, I was working as an English teacher.

<例2> 「最初に、あなたはこれらの質問に答える必要があります」という文の場合。

ステップ①：「副詞（句）」と「残りの文」に分ける。

副詞句：「最初に」＝first of all

残りの文：「あなたはこれらの質問に答える必要があります」
＝ you need to answer these questions

ステップ②：「副詞（句）＋カンマ＋残りの文」の形にする。

First of all, you need to write your name here.

ポイント！ **and / but** の後に副詞（句）を置く場合

文頭に置ける副詞（句）は、and や but の後に置くこともできます。基本的な形は以下の通りです。

《and の場合》

and の後にカンマを打ち、副詞（句）を置き、その後に再度カンマ (and, ○○, ~)

<例> I didn't study for the test and, as a result, my score was not good.

《but の場合》

but の前にカンマを打ち、副詞（句）を置き、その後に再度カンマ (, but ○○, ~)

<例> She usually drinks milk in the morning, but sometimes, she drinks coffee.

しかし「カンマの位置」は、書き手や伝えたいことによって変わることもありますので「いつもこの位置に打たないといけない」というわけではないので注意してください。